

下関市医療対策協議会（下関医療圏地域医療構想調整会議）

（令和4年度第1回）議事概要

【日 時】 令和5年3月2日（木） 19：00～20：30

【場 所】 下関市役所 西棟5階 大会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 国の動きを踏まえた地域医療構想の進め方や、外来機能報告の概要及びスケジュール等について説明を行った。
- 佐島医院及び佐々木整形外科・外科の病床機能再編支援事業に係る単独病床機能再編計画及び地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更について説明を行い、合意した。
- 二次救急医療を担う公立・公的等4病院の再編・統合について、4病院でまとめられた意見を踏まえ、今後の方向性の協議を行い、その結果、その方向性を了承し、調整会議における「第2次中間報告」として取りまとめた。

1 令和3年度病床機能報告結果について

2 地域医療構想に関する今後の進め方について

県医療政策課から、令和3年度病床機能報告結果について説明を行った。

また、各医療機関における具体的対応方針の検証・見直しや、構想区域全体の2025年の医療提供体制に係る協議の実施など、地域医療構想に関する今後の進め方について説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 医療改革には経営の健全化が必要と言われているが、公立病院は赤字が多い。このままでは医療改革が先送りになるのではないか。
⇒ 公立病院は不採算医療を担っており、黒字化が困難な場合もある。経営の観点も必要だが、地域医療構想の観点からは、限られた医療資源の中で、役割分担し、地域で必要とされる医療提供体制をどう確保していくかについて議論していくことが必要と考える。

3 令和4年度外来機能報告について

4 地域医療構想に係る国の動き等について

県医療政策課から、紹介受診重点医療機関の明確化等を目的とした外来機能報告の概要及び今後のスケジュール等について説明を行った。

また、医療計画策定にあたっての基本的な考え方や感染症法等の改正、医師の働き方改革について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

5 病床機能再編支援事業について（佐島医院、佐々木整形外科・外科）

県医療政策課から、令和4年度又は令和5年度病床機能再編支援事業の実施を希望した佐島医院及び佐々木整形外科・外科の単独病床機能再編計画及び2025プランの変更について説明を行った。

佐島医院の計画では、将来の医療需要の変化に対応するため、過剰である慢性期病床を削減し、高齢者の増加に伴いニーズが増えると見込まれる在宅医療の機能強化を図ることが説明された。

佐々木整形外科・外科の計画では、人口減少により医療需要の減少が見込まれることなどを踏まえて、入院治療の質の低下を予防する面からも、適正な病床規模への見直しを行うことが説明された。

協議の結果、これらの単独病床機能再編計画及び2025プランの変更について合意した。

(主な意見・質問等)

- 入院から在宅療養への円滑な移行については、医療だけでなく、地域での介護サービスの充実等、地域包括ケアシステムの構築が重要であると考えます。

6 下関医療圏における地域医療構想の推進について

二次救急医療を担う公立・公的等4病院の再編・統合について、4病院でまとめられた意見を踏まえ、今後の方向性の協議を行った。

方向性として、建替え時期が近い市民病院と下関医療センターの統合の可能性を検討することや、当面の間、下関医療圏の急性期医療体制を3病院で確実に担える機能再編を行うことを前提に検討を進めることなどが示された。

協議の結果、その方向性を了承し、調整会議における「第2次中間報告」として取りまとめられた。

(主な意見・質問等)

- 3病院体制とした際、新病院は他の2病院よりも病床規模が大きくならないとすることに疑問が残る。3病院でどのようにバランスをとるかという視点がないと意味がないのではないかと。
⇒ 現在の4病院の病床稼働率を踏まえると、医療需要の将来推計に応じた必要十分な規模とすることが医療の安定に繋がることから、他の2病院を

超えない程度の病床数が適正規模ということだと考えている。

今後、病院間での医療機能の役割分担や連携強化により質の高い医療が提供できるよう、大学医局等とも協議を行い、検討を進めていきたい。

- 示された方向性では、重複する診療科の再編や新病院の病床規模等について、医療圏全体の観点で検討するとともに、過度な競争を排して長期的に病院経営を継続できるものとなっており、平成29年に取りまとめられた中間報告に比べ、具体性・実現可能性が高まったと考える。
- 市民や患者の目線でみると、病院数が減ることに対する不安があるため、わかりやすく、丁寧に説明を行ってほしい。
- 今回、スタートラインに立てるようになったと思う。再編を進めていくことは生易しいものではないが、具体的な検討を進めていく必要がある。